

プラノバル配合錠

【この薬は？】

販売名：プラノバル配合錠 (PLANOVAR TABLETS)

一般名：ノルゲストレル・エチニルエストラジオール
(Norgestrel・Ethinylestradiol)

含有量：1錠中 日局ノルゲストレル 0.5mg、日局エチニルエストラジオール
0.05mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、黄体ホルモンと卵胞ホルモンからなる混合ホルモン剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、黄体ホルモンと卵胞ホルモンという2種類の女性ホルモンを補充することによって、これらのホルモンのバランスを整え、月経量や月経周期の異常などを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。
機能性子宮出血、月経困難症、月経周期異常（稀発月経、頻発月経）、過多月経、子宮内膜症、卵巣機能不全
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・エストロゲン依存性悪性腫瘍（乳癌、子宮内膜癌）のある人またはその疑いのある人

- ・血栓性静脈炎の人、肺塞栓症の人、または過去にこれらの病気と診断された人
 - ・肝臓に重篤な障害のある人
 - ・前回の妊娠中に黄疸、または持続的なかゆみがあった人
 - ・前回の妊娠中に悪化した耳硬化症があった人
 - ・妊娠ヘルペス（妊娠3～4ヶ月以降に発病し、激しいかゆみや痛みのある多数の水ぶくれができる病気）の症状が過去にあらわれたことのある人
 - ・鎌状赤血球貧血の人
 - ・デュビン・ジョンソン症候群の人、ローター症候群の人
 - ・脂質代謝に異常のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・診断の確定していない異常性器出血のある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
- ・肝臓に障害のある人
 - ・子宮に筋腫のある人
 - ・過去に乳癌と診断された人
 - ・血縁に乳癌にかかった人がいる人、乳房にしこりのある人、乳腺症のある人、乳房のレントゲン像に異常がみられた人
 - ・心臓や腎臓の病気がある人または過去に心臓や腎臓の病気と診断されたことがある人
 - ・てんかんのある人
 - ・糖尿病の人
 - ・40歳以上の人
 - ・現在身長が伸びている人
 - ・ポルフィリン症の人
 - ・テタニーのある人
 - ・高血圧のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔機能性子宮出血に使用する場合〕

通常、1日1錠を7～10日間続けて飲みます。

〔月経困難症、月経周期異常（稀発月経、頻発月経）、過多月経、子宮内膜症、卵巣機能不全に使用する場合〕

通常、1日1錠を月経の始まりを第1日目として数えて5日目より約3週間続けて飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とぼして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- この薬は飲み始めだけでなく、飲んでいる間はいつでも血栓症（手足・肺・心臓・脳・網膜などの血管内に血のかたまりが詰まる病気）になる可能性があり、生命に関わる場合があります。血栓症について、次のことを医師から十分理解出来るまで説明を受けてください。
 - 次のような症状があらわれた場合には飲むのをやめてすぐに救急医療機関を受診してください。
 - 手足・・・足の突然の痛み・腫れ、脱力・まひ
 - 胸・・・突然の息切れ、押しつぶされるような痛み
 - 頭・・・激しい頭痛
 - 口・・・舌のもつれ・しゃべりにくい
 - 目・・・突然の視力障害
 - 次のような場合には、症状が軽くても使用を中止してただちに受診してください。
 - ・血栓症が疑われる症状があらわれた場合
足の腫れ・痛み・しびれ・発赤・ほてり、嘔吐（おうと）・吐き気、頭痛など
 - ・体が動かせない状態になった場合、著しく血圧が上がった場合、脱水の状態になった場合など
 - 血栓症を疑って他の病院を受診する時には、この薬を飲んでいることを伝えてください。
- この薬を服用中にやむを得ず手術が必要となった場合には、血栓症の予防について配慮する必要がありますので、手術を担当する医師にこの薬を服用中であることを忘れずに伝えてください。
- この薬を使用中は、できるだけ禁煙してください。
- この薬を長期間使用する場合には、約6カ月ごとに婦人科的検査が必要です。受診日を守ってください。
- この薬の使用前に妊娠していないことを確認します。
- 授乳中の方は医師に相談してください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓症 けっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力・まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
頭部	激しい頭痛、めまい
眼	目のかすみ
口や喉	舌のもつれ、しゃべりにくい
胸部	鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み
手・足	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、脱力・まひ
その他	失神

【この薬の形は？】

形状	円形の錠剤
	
直径	5.6mm
厚さ	3.8mm
重さ	0.09g
色	白色
識別コード	AK376

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ノルゲストレル・エチニルエストラジオール
添加物	カルナウバロウ、サラシミツロウ、ステアリン酸マグネシウム、タルク、沈降炭酸カルシウム、トウモロコシデンプン、乳糖水和物、白糖、ポビドン、マクロゴール 6000

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保存してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
 - 製造販売会社：あすか製薬株式会社 (<http://www.aska-pharma.co.jp/>)
 - くすり相談室
 - 電話：0120-848-339
 - 受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日及び当社休日を除く）